

第79回

# シンフォニアグループ



シンフォニアテクノロジー株式会社は、1917年創業の大手電機機器メーカーで、航空宇宙用電装品、空港地上支援車両、クラッチ・ブレーキ、クリーン搬送機器、振動機器、パーツフィーダ、自動車試験装置、プリンターをはじめとする製品の製造を行っています。シンフォニアテクノロジーは、1980年後半から積極的にアジアへの展開を図っており、1989年にはタイにパーツフィーダの生産を行う現地法人を、1994年には中国での製造拠点となる合資会社を設立し、1995年にはシンガポールに電機機器製品の販売、アフターサービスを行う現地法人を設立しています。その後、2014年にはインドネシアに販売拠点を設立。2015年6月には、関連会社のシンフォニアマイクロテックが、ベトナム北部のハナム省に、電磁クラッチの製造を行うシンフォニアマイクロテック(ベトナム)有限会社を設立しました。今回は、そんなシンフォニアグループのシンフォニアテクノロジー(シンガポール)の白川マネージング・ダイレクター及びシンフォニアテクノロジー(タイ)の下田シニアセクションマネージャーにお話を伺いました。

## シンフォニアテクノロジー株式会社

本社  
〒105-8564 東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー

## ホームページ

<http://www.sinfo-t.jp/>

## 事業内容

航空宇宙用電装品、空港地上支援車両、クラッチ・ブレーキ、クリーン搬送機器、振動機器、パーツフィーダ、自動車試験装置、プリンターをはじめとする電機機器の製造

## シンフォニアテクノロジー(シンガポール)株式会社

96 Robinson Road #13-02, SIF Building, Singapore 068899  
TEL +65-6223-6122 FAX +65-6225-2729  
電機機器製品の販売、アフターサービス、エンジニアリングなど

## シンフォニアテクノロジー(タイ)株式会社

12th Floor Room 1205, 319 Chamchuri Square Building, Phayathai Road, Pathumwan Bangkok 10330  
TEL +66-2160-5068 FAX +66-2160-5069  
パーツフィーダ一般加工・未加工ボウルの製作、振動機器の製造  
電機機器製品の販売、アフターサービス、エンジニアリングなど

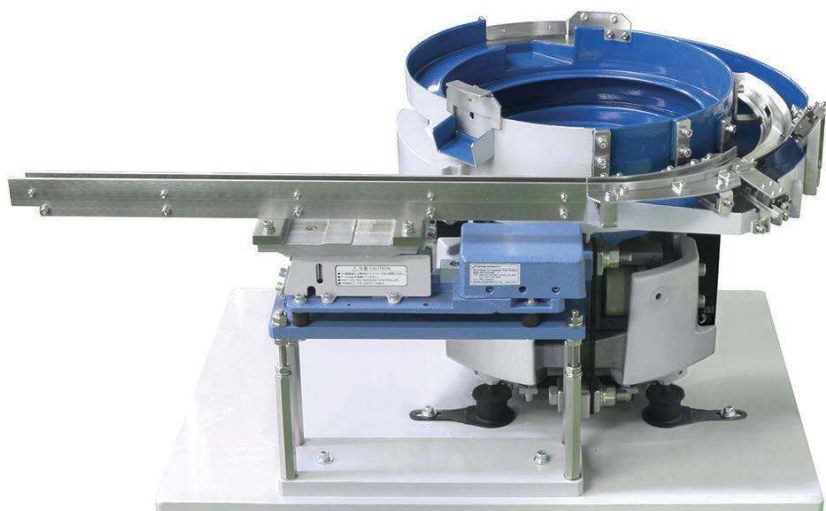
## シンフォニアマイクロテック(ベトナム)有限会社

Dong Van II Industrial Zone, Duy Tien District, Ha Nam Province, Vietnam  
TEL +84-351-358-3520 FAX +84-351-358-3515  
電磁クラッチ・ブレーキの製造販売

○シンフォニアグループについて教えてください

シンフォニアテクノロジーは、東京都に本社を置く電機メーカーで、創業は1917年と古く、来年100周年を迎える企業です。元々は神鋼電機という会社名でしたが、2009年にシンフォニアテクノロジーへ社名を変更しました。当社では、古くから電磁力を応用したモーター、発電機などの製造を行ってまいりました。現在も電磁力を応用した製品の製造を得意としております。主な製品としましては、航空宇宙分野で使用される姿勢制御用サーボアクチュエータ、地上支援機材、航空機用電装品をはじめ、電動式ベルトローダー、電磁クラッチ・ブレーキ、DDモーター、パーツフィーダー、半導体製造装置などがあります。当社では、アジアを中心に海外展開をおこなっており、20年以上前からタイと中国に製造工場があり、2015年

にはベトナム北部のハナム省にも製造拠点を設立しました。また、シンガポールには、製品の販売、アフターサービスを行う現地法人があり、インドネシアにも販売拠点があります。タイの現地法人は、1989年に設立され、パーツフィーダー、振動機器、コントローラーなどの製造とアフターサービス、エンジニアリングを行っています。パーツフィーダーは、お客様によって異なる製品を取り扱う必要があるため、設計からオーダーメイドで対応する必要がありますが、既に現地のタイ人スタッフで設計から製造までを対応できるシステムが出来上がっています。シンフォニアテクノロジー(シンガポール)は、東南アジアでの販売とアフターサービスを行う為に1995年に設立されました。シンガポール法人では、主にベトナム、マレーシア、フィリピン、インドを主なマーケットとして活動を行っていますが、ここ最近では、



デュアルモーションパーツフィーダー



マイクロクラッチ

ベトナムとフィリピンの市場が急速に拡大していると感じています。

ベトナムをはじめとした東南アジアの国々では、日本のお客様が日本で購入された当社の機械を現地法人設立に伴い現地で使用するケースが多くありますが、メンテナンスや修理を行う際に、わざわざ日本へ機械を戻さなくとも、当社又は当社の代理店にご連絡を頂ければ現地でのアフターサービス対応が可能となっています。

#### ○ベトナム法人について教えてくださいか？

シンフォニアマイクロテック(ベトナム)は、シンフォニアテクノロジーの100%子会社であるシンフォニアマイクロテックのベトナム法人として2015年に法人を設立し、2016年4月から操業を開始しています。

シンフォニアマイクロテックは、複写機やプリンターの給紙機構に使用されるマイクロクラッチで世界トップシェアを有しており、これまでは、中国の華南地区で製造を行っていました。

しかしながら、昨今の中国の人件費高騰などの影響もあり、OA機器メーカーがベトナム北部に生産拠点を建設していることから、当社もベトナム北部のハナム省のドンバンII工業団地へ現地法人を設立することとしました。

社員数は、スタート時点では30名でしたが、2016年中には100名規模とし、2017年には、200名規模まで増員し、月産100万台を目標としています。更に今後は、現在製品のほとんどを占めるOA機器向けだけではなく、マイクロクラッチで培った技術をベースに、シンフォニアテクノロジーとの連携を一層深め、新たな用途の開発や新分野での製品開発を進め、製造拡大を目指したいと考えています。

#### ○今回出展したNEPCON VIETNAMについて、どのような印象でしょうか？

NEPCON VIETNAMには、これまでにホーチミン市、ハノイ市、ホーチミン市と参加してきており、今回が3回目になります。来年はハノイでの出展を予定しています。前回のハノイでは、初日の午前中は、余り入場者が来なかったのですが、今回のホーチミン市では、初日の開場と同時に大勢の入場者が入ってきたので、少々驚きました。

今回の出展では、日系、ベトナム系の自動機メーカーと電機電子部品メーカーの方々に関心を持っていただけるような製品として、振動機やパーツフィーダーの展示を行っています。特に今回展示しているデュアルモーションパーツフィーダーは、従来のパーツフィーダーと全く異なる水平方向と垂直方向の2つの方向の振動によるスムーズな搬送を実現しており、通常のパーツフィーダーの2倍の速度で作業が可能となり、騒音も非常に小さく抑えられている製品です。



価格も従来の物よりも高いですが、高性能機として、最近人気が高い商品です。ベトナムの場合は、最近では日本で購入された当社の製品をベトナムに持ち込んで使用されている中での部品の修理や交換などのアフターサービスの需要が増えてきているのですが、まだ、ベトナムで部品の交換が出来ることをご存じなくて、態々日本へ戻されたりしているお客様もいらっしゃるのので、ベトナムでもアフターサービスが受けられるということをお客様に広く認知して頂くことも今回の出展の目的の一つです。

#### ○今後のベトナムのマーケットをどのようにお考えですか？

当社の製品は、これまで人が手作業で行っていた作業を機械で自動化することによって、人を省く省人化を行うことが目的となっています。中国やタイでは既に人件費の高騰によって自動化に対する需要が急速に拡大しており、特に中国は非常に大きなマーケットになっています。一方でベトナムは、周辺国に比べるとまだ人件費が安く、そのため手作業による作業が中心となっている現場も少なくありません。しかし、東南アジア全体で見ても人件費の上昇は、程度の差こそあれどこでも起きていることであり、ベトナムも将来的には、自動化のニーズが必ず拡大すると考えています。

特にベトナムには、日系、台湾系、韓国系などの電機メーカーが多数進出しており、今後は、ベトナム企業の成長も見込めることから、3年~5年後には、確実にマーケットが成長していると考えています。

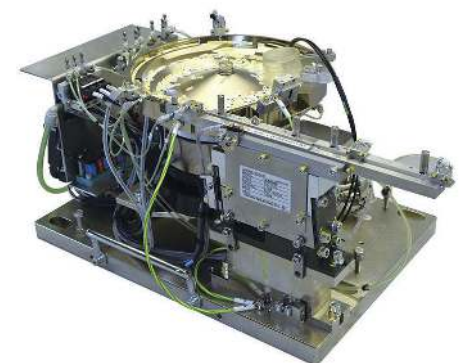
当社は、工場の自動化にお役に立てるノウハウを十分に有していますので、材料搬送を自動化したいといったご要望がございましたら、是非一度ご相談を頂ければと存じます。

また、製造現場を見学させて頂ければ、どの作業を自動化することが可能かといったご提案も行っておりますので、お気軽にご相談お願い致します。

ありがとうございました。



振動コンベヤ



精密パーツフィーダー